

あさひまち未来の学校 検討委員会だより

第2号

2022年3月16日
朝日町教育委員会
☎67-3302

町民アンケート集計結果

大多数が「新しい学校を創造すべき」

第3回「あさひまち未来の学校」検討委員会（委員長 富樫清志）が2月24日（木）に開催され、町民アンケートを基に検討委員会としての考えについて協議しました。町民アンケート結果を尊重し、「新しい学校を創造する」という考えにまとまりました。委員のみなさんからは、「小中一貫した9年制の学校を創り、朝日町のよさを生かした個性的で魅力的な教育活動を創造してほしい」、「義務教育学校のメリットとデメリットの両方を町民へ発信し、町民みんなで新しい学校を創造していきたい」、「学校がなくなった地区もずっと生き生きとしていけるような対策が必要だ」等の意見が出されました。

町民アンケートの結果は以下のとおりです。

◇ 1学級あたりの児童生徒数が減少していることについて、何らかの影響や課題があると思いますか。（単位は%）

児童生徒の減少 (現在)	一般町民	保護者			
		全体	西部	中部	北部
影響・課題なし	10.3	15.6	14.6	14.9	18.2
影響・課題あり	57.2	58.5	60.4	57.4	59.1
深刻な影響	32.5	25.9	25.0	27.7	21.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5

児童生徒の減少 (将来)	一般町民	保護者			
		全体	西部	中部	北部
影響・課題なし	3.4	4.0	8.3	3.2	3.0
影響・課題あり	32.5	39.1	45.8	38.3	36.4
深刻な影響	59.0	53.9	41.7	56.4	56.1
無回答	5.1	3.0	4.2	2.1	4.5

「影響・課題あり」と「深刻な影響」を合わせると8割以上の方が現状を心配していることがわかります。将来については「深刻な影響」と答えた方の割合がさらに大きくなっています。

◇お子さんが通っている（通う予定の、過去に通っていた）学校の将来について、あなたの考えに最も近い番号を1つ選んでください。（単位は%）

将来の学校について	一般町民	保護者			
		全体	西部	中部	北部
現在のまま	9.4	15.2	33.3	9.0	19.7
新しい学校	68.3	65.9	52.1	73.4	54.6
意見なし	12.0	16.6	12.5	16.0	21.2
無回答	10.3	2.3	2.1	1.6	4.5

7割近くの一般町民の方、6割以上の保護者の方が「新しい学校を創造すべきである」と答えています。「新しい学校」とは、例えば、3つの小学校と1つの中学校を1つにした、これまでにないような新しいシステムの学校などをイメージして答えていただきました。

◇自由記述

【新しい学校を創造する必要がある】

- ・大人数で学校生活を共にすることで、多様な考え方や人間関係、社会性が身について、後々の人生において有用だと思う。（西部地区一般町民・60代女性）
- ・少人数のよさは分かるが、30人程度の学級でなければ切磋琢磨しお互いに高め合う場面が少なくなる。多様性を認め合い、幅広い人々と関わりをもたせたい。（北部地区一般町民・60代男性）
- ・小学校は児童数が少ないにもかかわらず3つに分けられ経費もかかる。1つにまとめれば経費が抑えられ、その分、教育の質の向上に充てることができる。デメリットとして、少人数のときよりも教師からのサポートを受けられなくなるが、複式学級は教師の負担も大きい。（北部地区一般町民・20代女性）

【現在のままでよい】

- ・保育園から中学校まで12年間ずっと一緒というのもいやだし、地域の特色がある小学校であってほしい。（中部地区一般町民・30代男性）
- ・少人数ならではの学びがあり、目が届きやすいことで配慮があると思う。それが利点でもある。小学校は地域のつながりが深く、とてもいいと思う。（北部地区保護者・40代女性）

【今後の日程】

- ・令和4年5月～6月 第4・5回検討委員会 答申について協議する。
- ・答申を提示しパブリックコメントをいただく。
- ・答申を児童生徒へ提示し意見等をいただく。
- ・教育委員会・8月定例会
- ・議会9月定例会・全員協議会

今後も町民のみなさんに情報を発信していきますので、新しい学校について一緒に考えていただきたいと思います。よろしくお願ひします。



委員のみなさんは、アンケートの自由記述欄1つ1つに目を通しました。